令和3年度　授業計画書（シラバス）

授業科目名	取り扱う内容・分野
人体の構造と機能11	

学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験
鍼灸学科・夜間部	1年	1・2・③・4	上原　敏子	

分野区分	教育課程	講義形式	単位	コマ数
専門基礎分野	人体の構造と機能	座学	1	10

科目概要

医療人としての基礎知識となる人体の構造を学習し、その機能と合わせ正しく理解する。それにより鍼灸施術の際に必要な病態把握への実践につなげる。

目標

一般目標（GIO） 本講義を学習することで達成されるべき目標	解剖学のうち、頭蓋骨の構成、各骨の特徴、各骨同士の連結、顎関節の構造・機能、脳神経の通る孔について理解し、説明出来るようにする。 筋の総論を理解したうえで、表情筋、咀嚼筋、頚部、胸部、腹部の筋について説明できるようにする。
到達目標（SBO） 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標（合格基準）	1. 脳頭蓋を構 成する骨と孔の部位を図解することができる。 2.顔面頭蓋を構成する骨と孔の特徴、眼窩を構成する骨を述べることができる。 3. 頭部の関節と顎関節のの構成と特徴を述べることができる。 4. 筋の付着、補助装置について理解し、運動軸を考え運動を行うことができる。 5. 頭部、頸部、体幹の筋を挙げ、付着部、支配神経、作用を述べることができる。

履修に必要な予備知識や技能

随所で教科書に記載のある病態に触れるため、授業内容とともによく聴取すること。

教科書・参考書

教科書：東洋療法学校協会　解剖学　第2版

受講上の注意

授業前に前回の復習、授業後は学んだ内容の確認を行うが、疑問や不明瞭なことがあれば随時積極的に質問する。

成績評価方法

評価方法	定期試験	小テスト（チェックテスト）	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	（合計）
評価割合（%）	90		10				100

令和3年度　授業計画書（シラバス）

回数	授業内容	教科書	教材・持ち物
第1回	頭蓋骨：脳頭蓋	P.198-203 P.204-207	配布資料
第2回	頭蓋骨：脳頭蓋	P.198-203 P.204-207	配布資料
第3回	頭蓋骨：顔面頭蓋	P.203--204 P.207-210	配布資料
第4回	頭部の関節と顎関節	P.210	配布資料
第5回	筋の総論	P.163-168	配布資料
第6回	頭部の筋	P .297-299	配布資料
第7回	頸部の筋	P.299-302	配布資料
第8回	体幹の筋：胸筋	P.211-214	配布資料
第9回	体幹の筋：腹筋	P.214-220	配布資料
第10回	期末試験		

実務経験と本講義との関連について